

BBS を活用した音声学習支援 —メンターによる働きかけを中心に—

千 仙永¹・小針 奈津美²・古賀 裕基³

要 旨

本稿では、大学の日本語クラスにおける BBS⁴ を活用した音声学習支援の意義を明らかにするため、メンター⁵が (1) 当該週のテーマに対する理解、(2) 学習者の母語と日本語の発音の比較、(3) 日常生活をとおした発音の意識化、(4) 学習管理や学習方法支援に関する働きかけを上手く機能させるためにどのような工夫をしていたかを分析し、学習者の書き込みと対照することで、意図したとおりに達成できたかを検討した。その結果、メンターの工夫によって意見交換がしやすい環境が整えられ、時間・空間を問わず書き込みが行われる様子が見られた。また、インターネット上という学習環境に合わせた工夫が学習者のモチベーション維持や向上につながっていた。これらの支援においてはメンター間の連携が重要であること、また学習者同士の学びへと広がる可能性があることが示唆された。したがって、BBS を活用した支援は学習継続の助けとなり、自律学習を支えたと言える。

キーワード

音声学習 BBS メンター 内省 自律学習

1. はじめに

従来の日本語音声教育においては、教師が日本語学習者（以下、学習者）の発音を聞いてフィードバックをするという形式が多くとられている。しかし、本研究における BBS を活用した日本語音声学習支援では学習者の発音に対するフィードバックは行わず⁶、学習者自らが日本語の音声をメタ的に捉え、内省し、言語化していくことにより、自律的に自分の発音をより良いものにしていく力を育成することを目指している。そのような趣旨から、「発音 BBS」は学習者の内省を促し、理解を深めるためのツールとして位置づけられている。

1.1 研究の背景

近年、ソーシャルメディアをツールとして学び合うことのできる「ソーシャルラーニング」(ビンガムほか 2012) が実現され、その動きは日本語教育にも波及している。一例として、川名ほか (2012) では CourseN@vi⁷ 内に設置された BBS を用いた「日本語かき

こ」活動が報告されている。この活動では、自由な書き込みをとおしての「文型語彙」の学習と、自己表現および学習者間の「コミュニケーション」が目的とされている。このように、日本語教育においても既にBBSを活用した教育実践が行われているものの、それらの多くは学習者の語彙・文法・表現力を高めることやコミュニケーションそのものを目的としており、学習者の発音に関する内省や理解を深めることを主眼に置いて行われているBBS活動は管見の限り見当たらない。そのため、本研究で扱う「発音BBS」を活用した教育実践は新しい試みであると言える。

1.2 研究目的

BBSというツールを利用した音声学習支援はどのような意義を持つのであろうか。本稿では、「発音BBS」で行われた学習者とメンターのやりとりを質的に分析することにより、BBSを活用した新しい音声学習支援の活動の意義を明らかにすることを目的とする。そのため、以下の2点のリサーチ・クエスチョン（以下、RQ）を設けた。

RQ1：働きかけを上手く機能させるために、メンターはどのような工夫をしていたか。

RQ2：メンターの意図したとおりに働きかけは機能したか。

2. 「発音BBS」の概要

「発音BBS」とは、早稲田大学日本語教育研究センターで開講されている日本語科目「なめらか！発音3-4」におけるコンテンツの一つである。この授業は、第1週から第5週までは対面式の授業、第6週から第15週まではオンデマンドをとおして非対面式の授業が行われる。2012年度秋学期は、第5週⁸から第14週⁹までの10週分のオンデマンド講義（以下、講義）と対応するよう「発音BBS」が設置された（表1参照）。「発音BBS」は、学習者が各週の講義を視聴して発音のしくみや規則について学んだあと、意見や経験、疑問点を書き込むための場として機能している。週ごとに新しいテーマの書き込みが公開され、一度公開されたテーマは学期末まで閲覧や書き込みが可能であり、学期中であれば特に締め切りは設定されていない。各週の担当メンターは、話題提供者として学習者に問いかけたり、学習者からの書き込みに対応したりするなどの学習支援を行う。BBSを活用した学習支援の利点として、以下の点が挙げられる。

- (1) 学習者にとって、その日、その授業に限定せず、それまで議論したすべての記録が残るため、いつでも見返すことができ、内省がしやすい。
- (2) メンターや担当教員にとって、対面式授業では以前の授業内容に遡ってコメントすることが難しいが、BBSでは場所や時間を問わず気づいた時点でコメントできる。
- (3) 授業の中で学習が完結するのではなく、学習者にじっくり考える時間が与えられ、気づきを得るのに十分な時間が確保できる。
- (4) 学習者・メンター・担当教員が同時にアクセスする必要がない。そのため、各自の都合に合わせて自由にBBSにアクセスし、他者の意見を読んだり自分の意見を述べたりしながら自分のペースで学習を進めていくことができる。

「発音BBS」においては、投稿があると参加者全員に電子メール（以下、メール）で投

稿内容が配信されるように設定されている。このようなメールによる「お知らせ機能」には次のようなメリットがある。まず、日常的に使用しているメールアドレスに BBS の内容が届くことにより、授業に対する意識を維持することができる。学習者自身が自分の学習を管理しなければならない非対面式授業において、このように学習者の意識を授業に向けさせる仕掛けは重要である。次に、CourseN@vi にアクセスする必要はなく、届いたメールにダイレクト返信することにより BBS に書き込むことができる。そのため、毎回ログインしなければならないという手間を省くことができる。最後に、各学習者が既に使い慣れているメールと同じ要領でクラスメートの書き込みを気軽に読むことができる。そのため、相互学習に適した環境を提供することができる。

学習者に BBS 利用方法を的確に理解してもらうため、第 5 週の対面式授業にて説明を行った。また、メンター間の打ち合わせをとおして、日本語、英語、中国語、韓国語の 4 つのバージョンの FAQ¹⁰ も作成された（資料 1 参照）。

表 1 オンデマンド講義と「発音 BBS」の対応表

| | オンデマンド講義 | 「発音 BBS」のテーマ |
|--------|---------------|-----------------|
| 第 5 週 | イントネーション | ① 文末イントネーション |
| 第 6 週 | 連濁 | ② 連濁・助数詞 |
| 第 7 週 | オノマトペ | ③ オノマトペ・短縮語 |
| 第 8 週 | 日本語の音話しことばの発音 | ④ 外来語・縮約形 |
| 第 9 週 | 気持ちを伝える話し方 | ⑤ 強調 |
| 第 10 週 | 母音の無声化 | ⑥ 母音の無声化 |
| 第 11 週 | 名詞のアクセント | ⑦ 複合語のアクセント |
| 第 12 週 | 動詞のアクセント | ⑧ 動詞のアクセント |
| 第 13 週 | イントネーション | ⑨ 表現意図とイントネーション |
| 第 14 週 | への字型イントネーション | ⑩ への字型イントネーション |

3. 研究方法

3.1 BBS 参加者

2012 年度秋学期の「なめらか！ 発音 3-4」を受講した 28 名のうち 20 名と大学院日本語教育研究科の博士後期課程に在籍する大学院生メンター 5 名および担当教員が BBS に書き込みをした。大学院生メンターの出身地、母語は以下の表 2 のとおりである。

表 2 大学院生メンターの概要

| メンター | 出身地 | 母語 | メンター | 出身地 | 母語 |
|------|--------|-----|------|--------|-----|
| C | 中国・上海 | 中国語 | E | 中国・香港 | 中国語 |
| K | 日本・九州 | 日本語 | S | 韓国・ソウル | 韓国語 |
| Y | 韓国・ソウル | 韓国語 | | | |

3.2 働きかけの観点と分析データ

メンターによる働きかけの観点は、以下の4点である。

- (1) 当該週のテーマに対する理解を深めるための働きかけ
- (2) 学習者の母語と日本語の発音を比較するための働きかけ
- (3) 日常生活をとおして発音に意識を向けるための働きかけ
- (4) 学習管理や学習方法を支援するための働きかけ

戸田ほか(2013)では(1)(2)(3)の働きかけに関して報告されているものの、具体的にどのような工夫がなされていたのかは明らかになっていない。3点の働きかけは、学期をとおしてメンター間で行われた打ち合わせ¹¹で決められた。3点の働きかけが決められた理由は、(1) BBSが当該週のテーマに対する理解を深めるために設けられていることが挙げられる。そして、(2) 学習者の母語と日本語の発音を比較することによって日本語の音声特徴をメタ的に捉える力を育成すること、(3) 身近なものを利用して学習者の気づきを促し、日常生活の中で日本語に接する際に学習者の意識を発音に向けていくことが狙いだからである。

学期終了後、メンターはBBS活動に対する振り返りを行い、5名のメンターそれぞれが行った書き込みの意図を共有し、一覧表を作成した¹²(表3参照)。本稿では、各働き

表3 テーマ別メンターの書き込み意図

| 「発音 BBS」のテーマ | メンターの書き込み意図 |
|--------------|--|
| ① 文末イントネーション | 学習者の母語と日本語の発音の相違点、類似点を比べる。 |
| ② 連濁・助数詞 | 連濁に関する経験を紹介することによって、連濁のルールが発音だけではなく、書くときにも関連していることに気づいてもらう。 |
| ③ オノマトペ・短縮語 | 日常生活におけるオノマトペの応用例を提示することによって、他の応用例や他に日常生活で気になるオノマトペの具体例について考えてもらう。 日常生活における短縮語の例を提示し、日常生活で実際に触れる短縮語の例について考えてもらう。 |
| ④ 外来語・縮約形 | 学習者が日常においてよく見る、聞くものを例として、特殊な外来語の発音について考えてもらい、学習者の外来語の発音についての気づきを促す。 日常生活における縮約形の例を提示し、その意味と発音の特徴について考えてもらう。 |
| ⑤ 強調 | 身近なTVのCMでの音声の調節による気持ちを伝える話し方を考えてもらい、学習者の日常生活での話し方による気持ちの表現の仕方を考える。 日本での生活で欠かせない「自己紹介」の音声を用いて、音声の調節によりどのように強調したい部分を調節するのかをみんなで考える。 |
| ⑥ 母音の無声化 | 日常生活における母音無声化の例(駅名のアナウンス音声)を提示し、母音無声化の例について考えてもらう。(母音無声化に関する知識確認) |
| ⑦ 複合語のアクセント | 名詞と名詞が結合した時に、アクセントが変わるものには何があるか考えてもらう。 |
| ⑧ 動詞のアクセント | 毎日経験している日常の行動の例を通して、動詞のアクセントについて考えてもらう。 |

かけの分析結果を 4.1、4.2、4.3 で詳しく述べる。

また、本授業は非対面式授業が含まれることから、学習者自身が学習を管理しなければならないという点を考慮して、学習管理やスケジュールに関するアナウンスも定期的に行うことにした。これもまた、上述の 3 点の働きかけと同様にメンター間の打ち合わせの中で決定された。この 4 点目の働きかけについては、4.4 で詳しく述べる。

上記の BBS 活動において、授業実施期間中の 5 週目から 15 週目の間に、述べ 149 件の書き込みがあった。書き込む際に使用する言語の指定はなかったが、すべての書き込みが日本語¹³で行われた。また、やりとりの中では文字だけでなくイラストや写真も活用され、必要に応じて文字の色を変えたりハイライトをしたりするなどの工夫もなされた。様々な書き込みの例が挙げられるが、紙面の関係上メンターの働きかけの観点に基づいて 4 つの例を挙げる (図 1, 2, 3, 4 参照)。

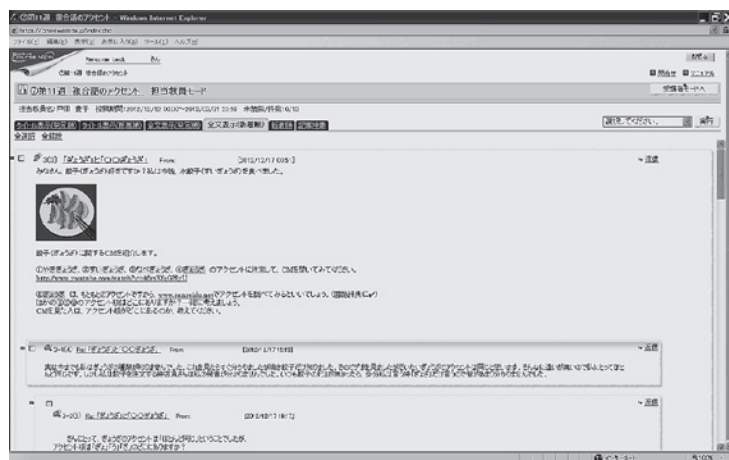


図 1 当該週のテーマに対する理解を深めるための働きかけ (4.1)

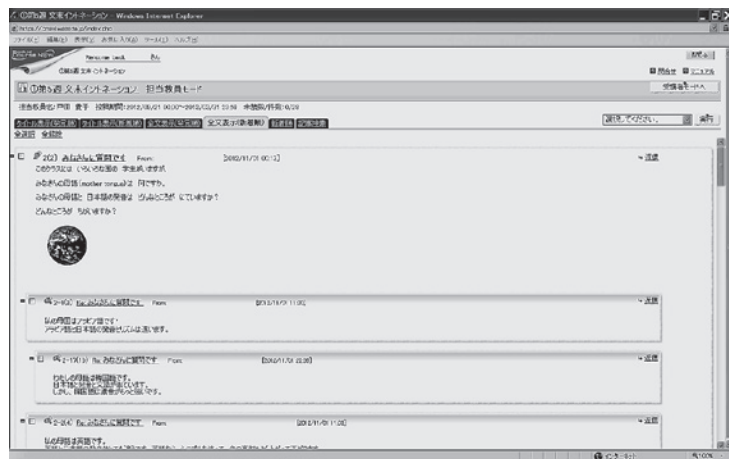


図 2 学習者の母語と日本語の発音を比較するための働きかけ (4.2)

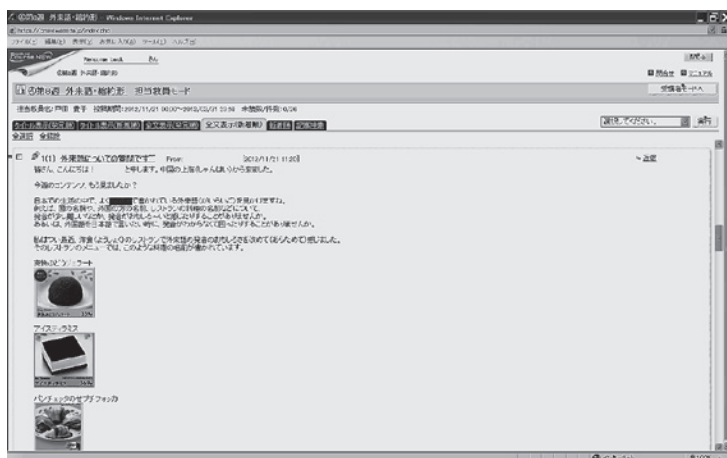


図3 日常生活をとおして発音に意識を向けるための働きかけ (4.3)



図4 学習管理や学習方法を支援するための働きかけ (4.4)

以上をまとめると、分析の対象としたデータは、1) 学習者とメンターおよび担当教員によるBBSへの書き込み、2) メンター間打ち合わせの議事録およびメールによるやりとりの内容、3) メンターによるBBSへの書き込みの意図がまとめられた一覧表である。

3.3 分析方法

メンターが4点の働きかけを達成するために、どのような工夫がなされていたかを分析する。そのため、メンター間打ち合わせの議事録とメンターによるBBSへの書き込み意図一覧表を参照しながら、メンターおよび担当教員によるBBSへの書き込みを「工夫」という観点からコードづけ、カテゴリー化した。また、メンターの意図したとおりに働きかけが達成できたかを確認するため、学習者の反応をコーディングした。

4. 分析結果

本章では、分析結果を示す。4点の働きかけを上手く機能させるために、メンターがどのような工夫をしていたかを分析する。該当する働きかけを行ったと判断したテーマを取り上げ¹⁴、BBSにおけるメンターの書き込みを提示しながら記述する。メンターの働きかけが意図したとおりに上手く達成できたかを検討するため、学習者の反応を合わせて示すこととする。

4.1 当該週のテーマに対する理解を深めるための働きかけ

メンターは音声知識の理解を深めるために「メタ的説明」「例示」を促していた。以下、その定義と具体例を示す。

「メタ的説明」とは、講義で学んだ日本語の音声の知識をもって発音を言語化することである。第7回のテーマ「複合語のアクセント」において、メンターは学習者に対して発音の現象をメタ的に考えるよう働きかけていた。それにより、学習者もアクセントの位置の変化を言語化している様子が伺えた。

- | | |
|--------|--|
| メンター | 餃子に関する CM を紹介します。①やきぎょうざ、②すいぎょうざ、③なべぎょうざ、④ぎょうざ（中略）①②③のアクセント核はどこにありますか？一緒に考えましょう。CMを見た人は、アクセント核がどこにあるのか、教えてください。[2012/12/17 00:51] |
| Stella | こんにちは。私は1、2、3、ではぎょうざの前に何かの言葉が付くときょうざのアクセントが全部一緒になると思います。具体的にはぎょうざの「よ」の後でアクセントが下がると思います。ただのぎょうざは「う」のところでアクセントが上がると思います。[2012/12/18 23:04] |
| Emma | 1、2、3の「XXぎょうざ」のアクセントは‘よ’の後で下がると思いますので、XXぎょうざが（低、高、高、低、低）じゃないでしょうか？しかし、4の「ぎょうざ」は、「う」のこえが上がるでしょう？ぎょうざ（低-高-高-）と思います。[2013/01/24 22:45] |

Stella と Emma はアクセントの変化を音で示せないという BBS の環境のもと、ことばで説明している様子が伺える。二人の説明方法には多少の違いはあるものの、いずれも日本語の音声について文字を使つて的確に説明することができている。

「例示」とは、講義で学んだ内容に該当する例を挙げることを意味する。メンターは音声項目に該当する例を挙げるよう働きかけていた。ここでは第3回のテーマ「短縮語」における書き込みを取り上げる。「短縮語」とは、長い語を意味のまとまりによって分け、前部要素と後部要素を2拍ずつ取って短くした語である。短くする際、特殊拍はその2拍に含まれない場合が多い。たとえば、「木村拓哉」は「キムタク」に、「メールアドレス」は「メアド／メルアド」になる。気になる短縮語を自由に書き込むようにというメンターの働きかけにより、学習者は身近な例を挙げている。

- メンター 他に気になる短縮語があれば、どんどん書いてみてくださいね。
[2012/11/20 01:09]
- Jane 自分が本当にわからなかったのはミスタードーナッツをミスドと女子高生をJKと呼ぶのがショックでした。[2012/11/29 11:01]
- Lily そんな短縮語はとても面白いと思います。分からないとき、すぐ日本人の友達に聞きます。こういう経験がありました。例えば、「ファミリーマート」の短縮語は「ファミマ」です。あるいは、色々なゲームの名前の短縮語があります。例えば、「モンスターハンター」というゲームの短縮語は「モンハン」です。[2013/01/19 14:09]

JaneとLilyは短縮語の例を挙げながら、驚いたり興味を持っていたりする経験を振り返っている様子が伺える。

以上のように、メンターは音で示せないというBBSの環境のもと、「メタ的説明」と「例示」を試み、音声知識の理解の深化のために働きかけていた。「メタ的説明」や「例示」を促すためには、音声に関する知識が欠かせないと言えよう。ただし、その知識というのは、あくまでもオンデマンド講義に基づいており、メンターは学習者にさらにわかりやすく説明することを試みていただけである。すなわち、音声学を専門領域とする者でなくとも、オンデマンド講義をきちんと視聴し、テキストの内容を理解しておけば、学習者の学びを促すことができる。そのほうが学習者にとって、意見交換しやすい環境が整えられる可能性があるのではないだろうか。

4.2 学習者の母語と日本語の発音を比較するための働きかけ

メンターは日本語の発音の特徴をメタ的に捉える力を育成するために「母語との比較」を促していた。第1回のテーマ「文末イントネーション」では、学習者の母語と日本語を比較しながら考えるよう次のように働きかけた。

- メンター このクラスには いろいろな国の 学生がいますが、みなさんの母語 (mother tongue) は 何ですか。みなさんの母語と 日本語の発音は どんなところが にていますか？ どんなところが ちがいますか？ [2012/11/01 00:13]

第1回の書き込みは、教室での対面式授業の中で時間を取って行われた。これは、このようなBBS活動が初めての学習者もいるため、操作方法などを含めた丁寧なサポートが必要だという授業方針によるものである。そのため、同じ時間帯に書き込みが集中していることがわかる。また、第1回の書き込みに限って、書き込みの内容も「文末イントネーション」に絞らず「母語と日本語の発音の比較」というテーマでフレキシブルな書き込みがなされた。表4ではまず授業中に見られた学習者の反応を示す。この反応から、学習者は自分の母語と日本語の発音を比較している様子がわかる。

表4 第1回における学習者の書き込み（母語の並びは五十音順、原文ママ）

| 母語 | 学習者の書き込み |
|-------|--|
| アラビア語 | 私の母国はアラビア語です・アラビア語と日本語の発音とリズムは違います。 [2012/11/01 11:00] |
| 英語 | 私の母語は英語です。英語と日本語の発音はとても違うです。英語なら、シラブルを使って、音の高さはよく上がって下がります。[2012/11/01 11:03] |
| | 私の母語は英語です。私の母語と日本語の発音とリズムは違います。[2012/11/01 11:08] |
| | 私の母語は英語です。英語の発音と日本語の発音はあんまり似ていないと思います。リズムがちがって、日本語のほうが英語よりモノトーンだと思います。[2012/11/01 11:17] |
| | 僕の母語は英語です。日本語は他の言語のようにパターンがあります。例えば、日本語はモーラを使う言語で、英語は音節を使う言語ですが、日本語と英語も一呼吸を使います。もちろん、アクセントのパターンもあります。[2012/11/01 11:21] |
| | 始めまして。私のアメリカ英語のワシントン州の発音は正しく言われた日本語とやっぱり違います。なぜかと言うと、日本語は diphthong という言葉を言いながら母音が変わることがありませんからです。ワシントン州のような西海岸のアクセントは東海岸の州より口が開いているに聞こえます。私にとって、東海岸の言い方はフラト感があります。[2012/11/01 11:25] |
| オランダ語 | 私の母語はオランダ語です。オランダ語と日本語の違うは大きいです。私の母語はちょっとかたいで、発音はフラットだと思います。そして私の日本語の問題はよく難しい言葉を速いいます。たとえば「なければなりません」と言うのはちょっとむずかしいです。そのむずかしいことばはよく「か、ら、ば」に入ったら、発音は難しくなりました。また私はいつも複雑な会話がある時、発音違いをたくさんします。それは私の母語と発音の問題です。[2012/11/01 11:16] |
| カタログ語 | 私の母語はタガログです。フィリピンの言葉です。タガログと日本語の発音は全然違います。日本語のイントネーションは色々があるので外国人とために正しく発音言ったらちょっと難しいです。それにタガログのイントネーションはそんなに多くないので喋りやすいです。日本語の発音が上手になるようにたくさん練習しなければなりません。日本語の発音が上と下のイントネーションがあるのでちょっとこんらんになれる。しかしタガログがもちろん上と下のイントネーションがあるとはいえあまり難しくないです。[2012/11/01 11:34] |
| 韓国語 | 私の母語は韓国語です。日本語と音の高さが似ています。[2012/11/01 11:07] |
| | わたしの母語は韓国語です。日本語と発音と文法が似ています。しかし、韓国語は濃音がもっと強いです。[2012/11/01 22:39] |
| | わたしの母語は韓国語です。韓国語は日本語と発音が似ています。特に、発音の高さとリズムが似ています。[2012/11/02 02:20] |
| | 私の母語は韓国語です。韓国語は日本語より英語の発音がしやすく作られています。[2012/11/29 10:51] |
| タイ語 | 私の母国語は韓国語です。韓国語は日本語とたくさん似ているとします。文法はほぼ同じで言うスタイルも似ています。しかし、他の点は、発音とイントネーションです。いくら韓国語と日本語は似ていても私には少し難しいです。[2013/01/24 19:23] |
| | 僕の母語はタイ語です。違うところはイントネーションです。日本語のインとネーションは言葉とかパターン (Pattern) とかによるですけど、タイのイントネーションは特別なシンボル (symbol) があって、イントネーションはそのシンボルによるです。リズムのところかいてあります。長いおとも短いおともあります。[2012/11/01 11:10] |

| | |
|-------|---|
| 中国語 | はい、そうです。私の母語は中国語です。少しにしています、例えば、中国語の1個は、日本語の1個の発音とにしています。違いところは、中国語は毎字四つ発音ですが、日本語は語彙によって、発音は違います。[2012/11/01 11:06] |
| | わたしの母語は中国語です。中国語と日本語は少しにしています。特に、上海語のアクセントは日本語ととても似ています。でも中国語は四つのアクセントがあります。[2012/11/01 11:24] |
| | 私の母語は中国語です。中国語で4つのトンがあります。日本語はこういうトンがないので、日本語のイントネーションは難しいと思います。[2012/11/01 11:30] |
| | 私の母語は中国語です。中国語は四つの声調があります。日本語では中国語の第三声のような発音がないと思います。[2012/11/01 11:43] |
| フランス語 | 私の母語はフランス語です。フランス人として、日本語の発音は結構簡単ですけど、リズムが違います。[2013/01/19 13:37] |
| ヘブライ語 | 私の母語はヘブライ語です。ヘブライ語と日本語の発音の音とイントネーションがとても違います。そして、日本語と比べて、ヘブライ語のメロディーが気持ちによってよく上がり下がりにしています。[2012/11/01 11:33] |

以上のように、メンターは学習者が母語と日本語の発音を比較するよう働きかけ、それに応じて、学習者は母語と日本語の発音の特徴をメタ的に捉え、比べている様子が見てとれる。これはまた学習者間に互いの書き込みを読み、自分の母語だけでなく他言語と日本語の発音における共通点や相違点にも気づいていくツールになると推察できる。

また、第4回のテーマ「外来語」では、「母語との比較」に加えて、日本語における外来語を原語と比較しながら考えるよう「他言語との比較」も促していた。韓国語を母語とする一人のメンターは、/f/の発音が日本語と韓国語で異なることを取り上げながら、学習者が自分の母語と日本語を比較するよう促した。

メンター **さんが紹介してくれたマクドナルドのメニューを見て、気づいたことがあります。私は、フィッシュフィレオ、えびフィレオの発音が難しいと思います。パフェ、フィレンツェ、フィルム、ダッフィーちゃんも同じです。なぜなら、韓国語では「f」の発音を「ㅍ」で発音するので、くちびるを閉じます。日本語の「f」はくちびるを閉じません。韓国人のみなさん、みなさんも私と同じ悩みを持っていますか？ 他国のみなさんは、「f」の発音をどのように発音していますか？ 日本語の「f」の発音と違いがありますか？ [2012/11/26 00:45]

メンターはほかのメンターの書き込みに対して、自分が日頃持っていた外来語に関する疑問を学習者に投げかけ、気づきを促した。メンターは韓国語と日本語の「f」の発音を比較対照し、同じ母語を持つ韓国人学習者、そして他言語話者の学習者に問いかけているのがわかる。メンターの中には自らが学習者として音声学習を経験してきた者も半数以上含まれることから、「母語との比較」をとおして互いの悩みを共有し、解決方法を模索していく仲間として、学習者に寄り添った支援が行われていた。

- Shion** カタカナ名の言葉は面白いと思いますけど、わたしも韓国人だから同じ悩みを持っています。たとえばカフェーの発音が難しかったです。[2012/11/26 14:56]
- Alice** 実は、日本語の「f」の発音とアラビア語の発音は違います。でもアラビア語の「f」の発音と英語の発音は同じです。[2012/12/25 19:36]

メンターと同じ韓国語母語話者である Shion はメンターの悩みに共感し、自分の悩みを他者と共有している。一方、アラビア語を母語とする Alice は、日本語とアラビア語、アラビア語と英語を比較しながら、母語や他言語と日本語の発音についてメタ的に考えている様子が見られた。つまり、メンターは日本語の発音に関する特徴を学習者の母語と比較するよう働きかけ、それに応じて、学習者は自分の母語や他言語と日本語の発音の特徴を比較していると言える。

以上のように、メンターは日本語の発音の特徴を説明するだけにとどまらず、学習者の母語を含めた様々な言語と日本語の発音の比較をとおして、共通点や相違点に気づいてもらうよう働きかけていた。

4.3 日常生活をとおして発音に意識を向けるための働きかけ

メンターは日常生活をとおして発音に意識を向けられるように「経験の共有」と「他領域との関連づけ」を促していた。

「経験の共有」とは、日本語を使用する場面における発音に関するエピソードを共有することを意味する。第4回のテーマ「外来語」では、日本語非母語話者のメンターが実際に経験した日本の洋食レストランでのエピソードを紹介した。

- メンター** 私はつい最近、洋食のレストランで外来語の発音のおもしろさを改めて感じました。そのレストランのメニューでは、このような料理の名前が書かれています。「爽快ぶどうジェラート」「アイスティラミス」「パンチェッタのセプチフォッカ」中には、ジェ、ティ、チェ、フォ、のような、五十音を勉強している時にあまり練習していなかった発音が入っていましたので、特に最後のパンチェッタのセプチフォッカを上手に発音する自信がなくて、注文するときに諦めました。皆さんは、それらの発音に気づいていますか？よく見ていると、日常生活の中でたくさん入っていますね。おもしろいエピソードや例などがあれば、ぜひ教えてください ^^！ [2012/11/21 11:20]
- Chen** こんにちは:) ジェ、チェ、フォ、ティのような発音は難しですが、私は英語の ja, te, fre, for のような言葉に変わって、少し簡単になりましたと思う: D しかし、外来語は発音ができ、意味も分かるのですが、自分で外来語をカタカナに変えることができない: (たとえば、「ファッション」が分かりますですが、自分で書くことが難しね。皆さんも？ぜひ教えてください！ [2012/11/26 15:19]

Stella こんにちは。私がカタカナの言葉で面白いと思ったのは場所の名前が英語での発音と日本語での発音が違う事です。例えば英語では *zermatt* と言いますが日本語ではカタカナでツェルマツトと言うことです。後は *holland* がオランダのことで。私が好きなカタカナの言葉は「フラペチーノ」です。[2012/11/28 22:21]

メンターの日本語使用場面における経験を共有することによって、学習者は自分の身の回りの出来事を音声項目と関連づけながら内省することができたと考えられる。中国語を母語とする **Chen** は日本語を使用する生活の中で遭遇する外来語を振り返ることにより、英語などの原語の発音よりも簡単になっていることに気づいた。一方、外来語を表記することは難しいと述べている。このように、「発音 BBS」においては、学習者が日常生活で接する日本語の音声に関するエピソードや考えが共有されていたことがわかる。日本語音声に関する専門知識を述べるのではなく、学習者にとってわかりやすく話しやすい話題を用いてやりとりが行われていた。このような話しやすい環境のもとで、学習者の書き込み行動において変化が起きたこともわかる。それまでの BBS 活動は、メンターの働きかけがあってから、学習者の意見が出されるといったパターンのやりとりであった。つまり、働きかけるのは常にメンター側の役割であり、学習者は受動的にその質問に答えるというものであった。しかし、**Chen** の場合には、メンターに代わって **Chen** 自身がクラスメートの意見を引き出そうとするという行動へと変化していく様子が見てとれる。換言すれば、BBS における学びは縦（メンター—学習者）から横（学習者—学習者）へと変容し始めたのである。実際に、英語母語話者である **Stella** は **Chen** の声掛けに応じて、外来語に関する自分の考えを述べている様子も観察された。

以下の第4回のテーマ「縮約形」においても、メンターのアルバイト経験に基づくエピソードが紹介されている。

メンター 自分は最初に日本に来た時、アルバイトをしている友だちに、「疲れてもうやってらんない」と言われたことがあります。最初にそれを聞いて、何を言っているか全然わかりませんでした (^_^;) 後の発音の勉強で、それは「縮約形」であることがわかるようになりましたが @@ 皆さんは、「やってらんない」のような言葉を聞いたことがありますか？ その意味がわかりますか？ [2012/11/24 18:42]

Rio へロ、私は縮約形来たことがあります。私のスポーツサークルではみんなはいつも縮約形を使っています。たとえば、「ありがとうございます」は「あさす」になりました。初めて、それを聞いてその人たちの日本語をぜんぜん分かりませんでした。でも、私の日本語は少しくまくなった後で、その言葉を分かるようになりました。[2013/01/23 21:02]

メンターの経験をエピソードとして共有したことが刺激となって学習者もそれに類似した経験を想起し、そのエピソードを BBS に書き込むことによって他者と経験を共有する。

Rio もその中の一人で、大学のサークルで出会った日本人の友達を使う縮約形の挨拶をエピソード形式で書き込んでいる。Rio の書き込みによって、Rio 以外の学習者も新たな縮約形の表現を知ることができ、学習者それぞれが置かれた環境で聞いたことのある縮約形を想起することができたのではないだろうか。このような「経験の共有」が BBS を介して行われていた。単なる経験の共有ではなく、音声項目に基づいた経験の共有がなされていたという点が、この BBS 活動の意義であろう。

「他領域との関連づけ」とは、日本語の音声、パソコンを使って文字入力をする際のタイピング（以下、タイピング）、表記、語彙、漢字などの他領域とも密接に関わっていることに気づき、それらを関連づけることを意味する。ここでは、第2回のテーマ「連濁」におけるメンターと学習者間のやりとりを紹介する。「連濁」とは、和語の組み合わせにおいて後部要素に濁点がつく現象を指す。ただし、元の後部要素に濁点がついている場合、連濁は起こらない。そこで、メンターは第2回のテーマ「連濁」において、連濁に関する知識の欠如によりタイピングが上手くいかなかった経験を共有した。メンターの書き込みに対して、学習者はその理由を提示し、同じような経験を共有していた。

- メンター 「ゆで卵」や「温泉卵」をパソコンで打ちたかったのですが、「優出玉後」「温泉だま後」のように変な漢字が出てしまったんです。(中略) この理由がわかる人、ぜひ教えてください。[2012/11/07 02:44]
- Stella 温泉卵は「おんせんたまご」です。なぜなら「たまご」にはすでに濁点がついているので「たまご」のままになります。[2012/11/10 23:26]
- Jane レポートとかを書いている時にどういう単語だったか覚えていませんが、普通に濁音がつくと思い、打ったのに漢字の変換ができなく、すごくあせったことがあります。[2012/11/29 10:58]

「発音 BBS」においては、「いかに身近なものを利用して、学習者の気づきを促せるか」という点がメンター間の共通認識であった。日本語を使った生活の中で学習者であれば誰でも経験することができる身近な例を発音という視点から再解釈することが、BBS において行われていたのである。今後学習者が日本語で生活していく中で、このような観点から身の回りの出来事を解釈する力が身につくであろう。このような力を持つことは、自らの学習を授業の中だけで完結させるのではなく、授業外でも自律的に学習していくことにもつながるのではないかと考えられる。

4.4 学習管理や学習方法を支援するための働きかけ

以上の3点の働きかけ——当該週のテーマに対する理解、学習者の母語と日本語の発音の比較、日常生活をとおした発音の意識化——を支えるものとして、「学習管理支援」や「学習方法支援」は欠かせないであろう。決められた時間に教室に集まらずに自分で学習を管理するオンデマンド授業の特性上、学習のスケジュールや成績に関するアナウンスが BBS を利用して行われていた。以下はそのアナウンスの一例である。

今週は教科書の9課「手巻きずし」と10課「なぞなぞ②」を勉強することになっています。オンデマンドの講義は第11回の連濁を見てください。授業の進め方がわからない人は教科書とオンデマンドの講義の対応表をもう一度添付しておきますので参考にしてください。[2012/11/08 15:25]

オンデマンド講座の視聴は成績の30%に相当しますので、毎週、計画的に視聴してってくださいね。BBSへのコメントも引き続きお待ちしております^^ [2012/11/10 21:29]

勉強は計画通りに進んでいますか。来週(1/24)はレポート提出ですね。忘れないで出してくださいね。[2013/01/17 10:16]

BBSのすべての書き込みは、第2章でも述べたように学習者が日常的に利用しているメールアドレスにも届くように設定されている。この授業の後半の10週間は教室に集まらないため、学習者が自分自身で学習を管理しなければならない。そのため、学習管理を促すメンターの書き込みは、学習者の自律的な学習の管理を補助する手段でもあったと言える。

また、BBSでは学習に役立つコンテンツや自律的な学習の方法の紹介が行われた。第3回のテーマ「オノマトペ」では、実際に音声聞きながら学習できるオノマトペの動画(YouTube)¹⁵や国際交流基金の「アニメ・マンガの日本語」¹⁶、オノマトペが調べられる辞書「オノマトペディア」など、一人でも勉強できる学習リソースが紹介され、学習者が自分に合った学習リソースを選んで学べるようメンターが支援した。

オノマトペがいろいろ勉強できる学習リソースを紹介したいと思います。みなさんも自分に合ったリソースを選んで楽しく勉強してみてください。(中略)オノマトペディア(<http://dictionary.goo.ne.jp/onomatopedia/>) 実際の文の中でオノマトペがどのように使われるか調べられます。辞書にもリンクしています。オノマトペと一緒に使う動詞も調べられます。[2012/11/16 16:07]

第7回のテーマ「複合語のアクセント」においても、複合語を構成する各語のアクセントを学習者が自力で調べられるようになるための支援として、インターネット上でアクセントを調べる方法が紹介された。

インターネットで、日本語のアクセントを調べることができます。URLをクリックしてください。(http://www.sanseido.net/) ①国語辞典をクリックします。②調べたい単語を書きます。たとえば、「朝日」を調べてみます。数字の「1」がアクセント核を表しています。前から1番目です。だから、あさひ(高低低)になります。[2012/12/13 15:23]

パソコン等の機器を利用して授業にアクセスするというオンデマンド授業の特性上、クリックさえすれば手軽にアクセスできるような素材が紹介されていた。また、単なる紹介で終わらせることなく、そのコンテンツを使って学習できるよう繰り返し働きかける様子も見られた。第8回のテーマ「動詞のアクセント」では、アクセント核の位置がわからない場合、前述の第7回のBBSで紹介されたアクセントの調べ方を利用するよう働きかけていた。

読んでみて、アクセントの核があるかどうか、分からないものがあれば、先週**さんが紹介してくれた方法で調べてみてくださいね。[2012/12/20 00:08]

対面式でないオンデマンド形式の授業においては、学習者自身が学習を管理していくことが不可欠である。そのような学習環境の中で、メンターは「発音 BBS」を活用して学習管理を促し、自律学習の方法を紹介していた。学習管理や学習方法に関する助言や支援が学習者のモチベーションの維持に貢献したのではないかと考えられる。

4.5 まとめ

以上、BBS を活用した音声学習支援におけるメンターの働きかけを分析した。事前の打ち合わせで決められた4点の働きかけを達成するために、次のような工夫がなされていた。

- (1) 当該週のテーマに対する理解を深めるために「メタ的説明」を誘導し、各テーマに合った「例示」がなされていた。
- (2) 様々な言語と日本語の発音をメタ的に捉え、共通点や相違点に気づいてもらうために「母語との比較」や「他言語との比較」がなされていた。
- (3) 日常生活をとおした発音の意識化のために「経験の共有」や「他領域との関連づけ」がなされていた。
- (4) 自律的な音声学習を意識した「学習管理支援」や「学習方法支援」がなされていた。

結果として、そのようなメンター側の工夫に学習者が応え、メンターの働きかけが機能した結果、学習者が学びを得ていく様子が見られた。

5. BBS 活動の意義

本章では、第4章で分析した結果をもとにBBS活動の意義について考察を行う。分析結果をとおして、インターネット上のBBS機能を活用した音声学習支援の意義が示唆された。

まず、5名のメンターが協力体制で、学習者にとって身近な素材を使いながら、いかにして音声学習への意識を維持させることが可能であるかについて検討を重ねたことが欠かさない。メンターは、事前の打ち合わせをとおして働きかけの意図を議論し、その意図に合わせた書き込みを行った。学習者が日本語の音声をメタ的に捉え、考え、言語化していくことを目指していた。普段の生活では見過ごされがちな取り留めのない話題を使って問

いかけることにより、学習者が自分の身近にある日本語の発音に目を向けるように働きかけた。そして、学習者に即答することを求めず、学習者自身が自分の発音と向き合うことを大切にされた。5名のメンターが4点の働きかけに関する共通認識を持ち合い、連携しているという支援態度は、学習者の学びを創出する上で重要な役割を果たしていた。さらに、インターネットといった環境に合わせた学習支援の工夫も見られた。教室で行われない非対面式授業という特徴から学習者は自分の学習を自分自身で管理する必要があった。そこで、メンターは学習管理が行われるように働きかける支援を行った。スケジュールに合わせて学習すべき項目、つまりオンデマンド講座、シャドーイング素材などがアナウンスされていた。また学習者がインターネット上でアクセスできる素材も数多く提供された。これらは、インターネット上でつながっているという学習環境を考慮した上で辞書、動画、音声などを共有するという工夫であった。このような緻密な努力が、学習者のモチベーションの維持や向上に貢献したと言える。

次に、BBS 活動をとおして学習者同士の学びも生まれていた。実際、学習者が提出した期末レポートからもその様子を窺い知ることができる。一例として、2名の学習者の記述を抜粋して以下に示す。下線および（ ）内は筆者による補足である。

Stella このオンデマンドの授業で良かったことは、先生（メンター）の質問に対して自分の意見を自由に述べやすかったことと同時に、クラスの他の人の意見も知る事もできました。また会話形式だったこともあり小さな疑問や細かいところまで遠慮なく会話できました。そこでまたもう一度自分の考えを復習することができ分かりやすくて良かったと思います。

Cho この授業のもう一つのメリットは BBS だと思う。メンターが毎週の学習確認していただいて、みんなディスカッションしている。みんなのコメントから、ほかの国の人がどうやって考えているのがわかる。

BBS における書き込みは、メンターとある学習者が1対1で行うやりとりではなく、授業に参加する全員が見られるように公開されている。そして、書き込みがあれば参加者全員にメールでお知らせが届くシステムにより、学習者は届いたメールを読むことで音声学習への意識を持続することができる。また、クラスメートの考えを知ることで、日本語の音声に関する理解をさらに深めることができる。学習者同士のやりとりが見られるという点においては、お互いの学びが共有できるという側面から、音声学習を個人の中で終わらせることなく、協働的な学習へとつなげることができたと言える。このような協働的な学習は、学習者の書き込みに変容が見られ、学習者が主体となって学習者同士の学びを促すといった行動からも見られる。自分以外の学習者の意見が気になる、テーマに関して自分が知っている例以外にもどのような例があるか知りたい、といった学習者の知的好奇心を刺激し、学習者の行動を受動的なものから能動的なものへと変えていったという点もまた、本 BBS 活動の意義であろう。したがって、今後は本授業を受講した経験のある学習者が先輩メンターとなって、後輩学習者の書き込みを促すといった活動方法も検討してい

る。「ソーシャルラーニング」(ビンガムほか2012)において教える側と教わる側の対立が不明瞭になってきているように、「発音 BBS」においても、様々な立場から自由に話題を提供し、支援していくことができるようにすることが今後は必要であろう。ただし、音声を学ぶという明確な目的を持った「発音 BBS」であるからこそ、活動の第一目的はあくまで音声学習を内省し、理解を深め、自律学習を促進することであり、最終的には音声コミュニケーション能力の育成につなげるという意識で支援を行っていくことが重要である。

6. おわりに

「発音 BBS」を活用した音声学習支援は、学習者自らが日本語の音声をメタ的に捉え、内省し、言語化していくことにより、自律的に自分の発音をより良いものにしていく力を育成するものであった。メンターは事前の打ち合わせから、(1) 当該週のテーマに対する理解を深めるための働きかけ、(2) 学習者の母語と日本語の発音を比較するための働きかけ、(3) 日常生活をとおして発音に意識を向けるための働きかけ、(4) 学習管理や学習方法を支援するための働きかけを検討し、メンター間で共有した上で様々な工夫をしながら学習支援を行った。メンターの工夫の結果、意見交換しやすい環境が整えられ、時間、空間を問わず日本語の音声についての書き込みが行われた。メンターはお互いに協力し、学習者の知的好奇心を刺激しながら、学習者の行動を受動的なものから能動的なものへと変えていった。このような緻密な努力が、学習者のモチベーションの維持や向上に直結したと言える。したがって、「発音 BBS」を活用した音声学習支援は学習者の音声学習の継続の助けとなり、自律学習を支える上で重要な意義を持つと言える。

注

- 1 ちよん・そによん (早稲田大学大学院日本語教育研究科・博士後期課程在籍)
- 2 こばり・なつみ (早稲田大学大学院日本語教育研究科・博士後期課程在籍)
- 3 こが・ひろき (早稲田大学大学院日本語教育研究科・博士後期課程在籍 / 日本語教育研究センター・非常勤インストラクター)
- 4 BBS とは、参加者が自由に投稿できる電子掲示板 (Bulletin Board System) のことを指す。
- 5 メンターとは、学習者にとっての良き相談相手やロールモデルとなったり、必要に応じて助言を行ったりといった役割を果たす存在である。本授業においては、日本語教育を専門とする大学院生がメンターとなって活動に参加した。
- 6 学習者の発音に対するフィードバックは、本授業の別コンテンツである「発音チェック」において行われている。大久保ほか (本誌所収) を参照されたい。
- 7 早稲田大学で使用されている学習管理システム LMS (Learning Management System) である。詳しくは、本誌所収の稲葉論文を参照されたい。
- 8 学習者に利用方法を紹介するため、対面式の授業の第 5 週目から BBS 活動が行われ始めた。
- 9 第 15 週目まで BBS における書き込みが続けられた。
- 10 FAQ とは、よくある質問とその答えをまとめたものを指す。Frequently Asked Questions の略字である。
- 11 メンター 6 名 (本授業の別コンテンツ「発音チェック」に携わるメンター 1 名を含む) により、

早稲田大学内の研究室において計8回の打ち合わせが行われた。1回の打ち合わせに要した時間は約90分であり、前週分の活動の振り返りをした上で、次週分の活動について意見交換がなされた。打ち合わせの中では、本授業に関するBBS活動以外のことについても話し合われた。打ち合わせ終了直後にメンターの一人が議事録を作成し、メンター全員および担当教員にメールで配信した。

- 12 メンターの働きかけの意図一覧表が作成された時期は、2012年12月末である。そのため、表3では第12週目までのデータを記す。
- 13 母語との比較において例を示す際に、英語・中国語・韓国語が使われることもあった。
- 14 複数の例が挙げられるが、紙面の都合上、一部のみ掲載する。
- 15 日本語非母語話者が作った動画である。タイトルは「Dont touch my BOT, Japanese Onomatopoeia 重ね言葉」であり、2013年11月現在、次のURLで閲覧可能である。<http://www.youtube.com/watch?v=9rj0uOdkTyg> (閲覧日2013年11月6日)
- 16 国際交流基金が提供しているコンテンツである。オノマトペの実際の音声聞きながら学習できるようにしている。次のURLは該当サイトのトップページである。<http://anime-manga.jp/index.html> (閲覧日2013年11月6日)

参考文献

- 川名恭子・小西玲子・齋藤智美・坂田麗子・佐藤貴仁・田所直子・田中敦子・水上弘子・宮武かおり・渡部みなほ (2012) 「初級日本語クラスにおける教師間シナジー— CourseN@vi を活用した『日本語かきこ』の実践—」『早稲田日本語教育実践研究』刊行記念号、pp. 139-152
- 戸田貴子・古賀裕基・大久保雅子・尹淳禎・千仙永・張婉明・趙靚 (2013) 「オンデマンドの発音授業における新しい学習支援の試み— BBS によって促された学習者の気づき—」『早稲田大学日本語教育学会2013年春季大会資料集』、pp. 44-47
- ビンガム, トニー (Bingham, Tony)・コナー, マーシャ (Conner, Marcia) (2012) 『「ソーシャルラーニング」入門—ソーシャルメディアがもたらす人と組織の知識革命—』(松村太郎・山脇智志訳) 日経BP社 (原著は2010)

※本研究は早稲田大学特定課題研究 (課題番号: 2013A-6459) の助成を受けている。

資料 1

発音BBS FAQ

- ①「発音BBS」って何ですか。
「発音BBS」は日本語の発音についてみんなで話し合うところです。アクセントやイントネーションなど毎週の学習テーマに合わせて CourseN@vi のBBS に書き込みを行います。
- ②BBSに参加するとどんなことがありますか。
日本語の発音を理解するためには、ただ講義を聞くだけでなく、理論やストラテジーについて自分で考えを整理していく必要があります。「発音BBS」に参加することで次のようなメリットが生まれます。
- 日本語の発音についての理解が深まります。
 - みなさんの母語と日本語の発音の違いについて知る機会になります。
 - 日常生活と発音を結び付けて考えることができます。
 - BBS で考えたことを学期末レポートにいかすことができます。
- ③学生だけで話し合いをしますか。
「発音BBS」にはみなさんの意見を引き出してくれるメンターも参加します。メンターからみなさんに問いかけがあったり、みなさんからメンターに質問したりできます。もちろん学生同士でいろいろ話し合うこともできます。
- ④どんな時に利用しますか。
みなさんの好きな時間に BBS を読んだり、書き込んだりすることができます。メンターの問いかけに返事を書いたり、講義の内容、発音の練習方法について質問したり、講義の感想を述べたりすることができます。
- ⑤毎週必ず書かなければなりませんか。
無理をする必要はありませんが、できるだけたくさん参加することでみなさんの発音学習の機会が増えます。
- ⑥評価に「発音BBS」は関係ありますか。
みなさんがどれだけ発音について考え、授業に関わっているかという参加度を知るためのひとつの指標となります。
- ⑦複数の週のテーマをまとめて書いてもいいですか。
基本的には毎週ひとつのテーマで話し合いを行います。過去のBBSにも書き込みを行うことはできますが、学期末になってまとめて複数の書き込みを行うのはやめてください。

⑧日本語を間違えたらはずかしいんですが、大丈夫ですか。

みなさんは日本語の学習者ですから日本語を間違えるのは当然です。文法や語彙の正確さを問うBBSではありませんので、間違いを気にせず考えたことを素直に書いてみましょう。

⑨どのようにしてBBSに書き込みをすればいいですか。

- 1) CourseN@vi にログインします
- 2) なめらか! 発音3-4 をクリックします
- 3) 発音BBS をクリックします
- 4) 第○週テーマ をクリックします
- 5) トピックを読んでから、右上の返信 をクリックします
- 6) 本文を書いて、下にある確認 を押します
- 7) 登録 を押して完了です

※自分で新しくトピックを立てる場合
上の1)~4)まで同じです。

- 5) 右上の▼プルダウンを押して、投稿する を選んで右の実行ボタンをクリックします
- 6) タイトルと本文を書いて、下にある確認 を押します
- 7) 登録 を押して完了です

みなさんからの返事を待ちましょう。

⑩日本語のタイピングの仕方がわかりません。

日本語のタイピングの仕方については別の資料がありますので、そちらを参考にしてください。

⑪「発音BBS」に誰かが書き込みをしたことはわかりますか。

「発音BBS」に書き込みを行うと「なめらか! 発音3-4」を学習しているみなさんにメールが届きます。メールが届いたらみなさんの書き込みも読んでみましょう。